

科目名 母性看護学概論 時間割表記名 母性看護学概論	配当時期 2年次前期 単位数 1単位 時間数 30時間(15回)	講義担当者 深水素子	
事前学習内容 講義に必要なテキストを熟読する。			
授業目標 1. 母性のライフサイクル各期の身体的・精神的・社会的特徴と母性看護学の役割が理解できる。 2. 母性看護の対象が有する母性特有の健康問題と看護の方法が理解できる。 3. 現代の女性を取り巻く環境の変化を理解できる。 4. リプロダクティブヘルス・ライツの考え方をもとに看護の役割が理解できる。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。 DP4. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割を理解し、多様な場で生活する人々の生活の質の向上のために多職種と連携・協働する意義と方法を理解することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	母性看護の基盤となる概念 1)母性とは 2)母子関係と家族発達 3)セクシュアリティ(人間の性) 4)リプロダクティブヘルス/ライツ 5)ヘルスプロモーション 6)母性看護のあり方 7)母性看護における安全・事故防止	講義	テキスト①資料
2	母性看護の対象 1)女性のライフサイクルと家族 2)母性の発達・成熟・継承 (1)母性、父性、親性の発達 (2)母子関係と愛着 (3)母性の世代間伝達	講義	テキスト①資料
3	母性看護の課題と展望 1)母性看護における倫理 (1)プライバシーの保護	講義	テキスト①資料
4	(2)自己決定の尊重 (3)人工妊娠中絶と倫理的課題 (4)生殖補助医療と倫理的課題 (5)出生前診断と倫理的課題	講義	テキスト①資料
5	2)セクシュアリティと自己決定 (1)セックス、ジェンダー (2)性の多様性(性同一性障害、性分化疾患、LGBT)	講義	テキスト①資料

6	女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化 1)生殖器の形態・機能 2)妊娠と胎児の性分化	講義	テキスト①資料
7	母性看護の歴史的変遷と現状 1)母性看護の変遷	講義	テキスト①資料
8	2)母子保健統計の動向 (出生、新生児・乳児・周産期死亡、妊産婦死亡、死産・流産・人工妊娠中絶に関する統計)	講義	テキスト①資料
9	3)母子保健に関連する法律と施策 (DV 防止法、性暴力被害者支援、虐待防止に関する法律、母体保護法、女性の就労に関する法律)	講義	テキスト①資料
10	母性看護の対象を取り巻く環境 (家族、地域社会、生物学的環境、社会文化的環境)	講義	テキスト①資料
11	女性のライフサイクル各期における看護 1)ライフサイクルにおける女性の健康と看護の必要性 2)思春期の健康と看護 3)成熟期の健康と看護	講義	テキスト①資料
12	4)更年期の健康と看護 5)老年期の健康と看護	講義	テキスト①資料
13	リプロダクティブヘルスケア 1)家族計画 2)性感染症とその予防 3)人工妊娠中絶と看護 4)性暴力を受けた女性に対する看護 5)児童虐待と看護	講義	テキスト①資料
14	周産期医療システムと母子保健施策 (母子に関する法律、母性看護の場)	講義	テキスト①資料
15	母性看護学概論のまとめ 筆記試験(45分)	講義 試験(筆記)	テキスト①資料
受講上の注意 ○自分自身はその立場となり、しっかり考える授業になる。 ○母性看護学援助論へつながるため、復習する。			評価方法 筆記試験
使用するテキスト ①系統看護学講座 専門分野 母性看護学1 母性看護学概論 医学書院 参考文献			